

令和6年2月29日

緑肥及びバイオ炭を活用した土づくり実証調査委託事業報告書

天理市役所 総合政策課 御中

株式会社 SOFIX

代表取締役 久保 幹

標記委託事業について、以下のとおり活動内容等を報告します。

本委託事業	
事業名	緑肥及びバイオ炭を活用した土づくり実証調査委託事業
業務実施期間	令和5年11月1日 から 令和6年2月29日
委託元	天理市役所
委託金額	431,508円
事業内容・成果	<p>有機栽培の水田(2枚)を実証圃場として、マメ科のヘアリーベッチ及びバイオ炭を同時に施肥し、土壌の肥沃化及び自作水稲への影響を測定した。</p> <p>実証圃場は、従来より化学肥料を施肥しない水田経営の農業者の圃場である。予てより、独自の方法で有機栽培に組み、取り入れ口にスギの枯れ枝を水路に挟み、水面に油膜を発生させて除草剤の代用とするなど、今後の普及性が期待される農業者である。近年、緑肥に取り組む農業者は全国各地で増加傾向であり、農業者独自の緑肥活用方法論が存在すると考えられるため、天理市内でも緑肥に取り組む農業者の連携が非常に重要であると考えられる。まずはマメ科の緑肥(藤右衛門)を選定したが、複数品種(イネ科とマメ科等)の播種も作業工程上大きな支障が無くできると考えられるため、次年度以降の取り組みで検討すべきである。</p> <p>土壌分析結果及びこれに対する施肥設計案は別紙の通りである。</p>
その他(課題等)	緑肥及びバイオ炭の効果は複数年でその肥効が現れると考えられるため、化学肥料の経年低減データを取ることが重要である。加えて、農家への緑肥の訴求力としては収量性比較も重要であることから、化学肥料低減量とセットで緑肥栽培の測定項目を設定すべきと考えられる。
添付資料	別添のとおり